

# 事業概要シート

事務事業コード	事務事業名称	事業区分	所属コード	担当課
301040105	総合型地域スポーツクラブ推進	実施計画	7900	青少年・スポーツ課
事業開始年度	平成13年度			

## ◆事業の性質分類

<input type="radio"/>	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	<input type="checkbox"/>	④施設等の維持管理的な事務事業
<input type="checkbox"/>	②整備関係事務事業	<input type="checkbox"/>	⑤行政の内部管理事務事業
<input type="checkbox"/>	③施設等の建設事務事業	<input type="checkbox"/>	⑥経常的な事務事業

【注】公の施設の維持管理的な事業で指定管理者等の導入可能性があるものは①、④の両方が該当するため両方に○印を付ける。

## ◆事業の背景

市民ニーズ・地域課題	関係法令、関係計画等
いつでも、どこでも、だれでもスポーツに親しめる環境づくりが必要です。 健康をキーワードに学校を拠点にしたまちづくりを進めることで、地域コミュニティの再生を図ります。	国スポーツ振興基本計画 府スポーツ振興計画 市スポーツ振興計画 第3次総合計画第2期基本計画 基本3-政策1-施策4

## ◆事業の目的

【事業の対象】・利益を受ける人 ・最終的に影響を及ぼすことを予定している人、もの 等	【事業の目指す成果】・左記の対象がどのような状態になることを目指していますか ・成果として具体的に何か 等
市民79,654人 地域住民の健康づくりを担う総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツ団体(各小学校区) 地域コミュニティの再生を図ることにより地域の関係団体 医療費の抑制が期待できることから行政	平成26年度までに 週1回以上の成人のスポーツ実施率50%以上 総合型地域スポーツクラブの創設5か所以上 体育の授業以外で子どものスポーツ実施率100%(今年度に行うスポーツ振興計画の見直し時に、体力テストの数値を国平均以上に変更する予定)

◆事業費の推移 (単位:円)			H19実績	H20実績	H21見込み	
収入	使用料・手数料		428,074	794,845	1,364,000	
	国支出金(補助率 )					
	府支出金(補助率 )					
	その他( )					
	合 計		428,074	794,845	1,364,000	
支出	人件費(概算)	正規職員	従事人員(人)	0.20	0.40	0.50
			人件費	1,600,000	3,200,000	4,000,000
		嘱託・再任用職員	従事人員(人)		0.80	0.80
			人件費		124,948	460,096
	事業費(予算・決算)		2,309,327	5,739,000	12,808,000	
合 計		3,909,327	5,681,419	17,268,096		
収支	一般財源充当額		3,481,253	4,886,574	15,904,096	
	対象者あたり一般財源充当額		(市民79,654人が分母) 43/人	(市民79,654人が分母) 61/人	(市民79,654人が分母) 199/人	

主な事業費の詳細 (H21見込み)	アルバイト賃金653,000円 すくすく健康フォーラム講師謝礼100,000円 地域スポーツ振興事業委託料1,200,000円 市民大運動会委託料4,500,000円 長岡第四小開放センター借上料3,024,000円 スポーツでつくる地域コミュニティ醸成事業補助金3,058,000円
-------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆事業の内容	
事業の手法	事業の内容
直営	すくすく健康フォーラム参加者約100人(年1回開催) 地域スポーツ振興事業
全部委託	プロポーザル方式で地域の実情に合わせたスポーツ振興事業を総合型地域スポーツクラブ及び校区社会体育振興会に委託
○ 一部委託	参加者:延べ約3,500人(各小学校の地域スポーツ団体に委託、事業の合算) 総合型地域スポーツクラブ補助金
指定管理	総合型地域スポーツクラブ創設にあたり、設立準備・活動段階及び定着化事業について補助金を交付
その他	(四小・九小校区に各300,000円、七小校区に150,000円、五小校区に80,000円)

◆事業の類似			
市における類似事業について	スポーツ係が所管する事業全般	近隣市町における類似事業について	国が市区町村に総合型地域スポーツクラブを最低1か所創設することを目指している。その手法は千差万別である。

◆過去の経過	
これまでの課題	左記の課題への、これまでの対応
地域スポーツ振興については補助金依存型・補助金処理型という伝統が長年定着しており、参加料や会費を払う(受益者負担)という考え方を定着させるには時間がかかる。クラブは自主財源による自主運営が基本であるが、安定した運営ができるまでの一定期間は財政援助が必要。	各種研修会や会議等を通じて理解を求めている。すくすく健康フォーラムでは健康をキーワードにしたまちづくりの方策としての総合型地域スポーツクラブ創設に理解を求めている。平成18年度に総合型地域スポーツクラブの組織化及び定着化事業補助金交付要綱を制定した。(時限性補助金)その後、学校を拠点にした地域の融合を図るため、スポーツでつくる地域コミュニティ醸成事業補助金交付要綱を制定し、前述の補助金と学校開放運営協議会に対する補助金を統合した。

◆現状の分析と課題	
①【必要性】・現在も市民に必要とされる事業か ・環境変化により事業目的は薄れてないか ・廃止した場合の影響は何か	②【市関与の妥当性】・市が行うべき事業か ・類似事業を行う他団体はないか ・市が行わない場合の影響は何か
国のスポーツ振興基本計画で提唱されている取り組みである。また、本市の地域スポーツ振興の担い手である社会体育振興会連合会の活動がマンネリ化しており、新しいスポーツ振興方策のひとつである総合型地域スポーツクラブの取り組みを一層進めていく必要がある。地域コミュニティの希薄化が叫ばれる今日、健康をキーワードにしたまちづくりの方策としても進めていく必要がある。	本市スポーツ振興計画の達成に不可欠な施策であり、地域の自主性を尊重しながら行政がリーダーシップをとる必要がある。特にクラブハウスの設置や財政援助など行政に求められている役割は大きい。
③【手法の適正】・現在の手法は最も適正なものであるか ・手法を変更する可能性はないか ・変更する場合の課題は何か	④【その他の課題】・現在の内容で目的は果たせるか ・経費や時間等に無駄はないか 等
地域での補助金(委託金)処理型の事業から補助金(委託金)活用型の事業になるよう仕掛けているところである。公募事業を活用することで地域が地域課題に対して考えるきっかけづくりとしている。学校を拠点に地域が融合した事業展開が図れるよう補助金の統合を行っている。	目的が果たせるように常に課題整理しながら進めているが、地域の理解が第一であり時間はかかる。

◆今後の方向性と課題への対応	
方向性	【方向性の理由と想定される課題への対応】
○ 継続	現在までに3クラブで設立され、2校区で準備委員会が立ち上げられている。全小学校区で取り組みが推進されるように、総合型地域スポーツクラブの理念等について積極的に理解を求める働きかけを行う。
○ 拡大	
縮小	
統合	
外部委託	
廃止	
その他	

所属長コメント(事業の展望)

平成21年度予算からは、学校開放事業補助金との統合化や市民大運動会委託もこの事業の一環としたことから予算額がアップしている。本市のスポーツ振興の要の事業であり、経営資源を集中して地域活動の支援を行っている。